

17:11 次のような【主】のことばが私にあった。

17:12 「さあ、反逆の家に言え。『これらがどういうことなのか、あなたがたは知らないのか。』こう言え。『見よ。バビロンの王がエルサレムに来て、その王とその首長たちを捕らえ、バビロンの自分のところへ連れて行った。』」

17:13 そして彼は王族の一人を選んで、その者と契約を結び、忠誠を誓わせた。彼はこの国のおもだった者たちも連れ去っていた。

17:14 それは、この王国を低くして立ち上がれないようにし、その契約を守らせて存続させるためであった。

17:15 ところが、彼はバビロンの王に反逆し、使者をエジプトに送り、馬と軍勢を得ようとした。そんなことをして、うまく行くだろうか。助かるだろうか。契約を破って助かるであろうか。

17:16 わたしは生きている——【神】である主のことば——。彼は、自分を王位に就けた王との誓いを自ら蔑み、また、自ら契約を破ったので、その王の住む場所、バビロンで必ず死ぬ。

17:17 戦争になって、多くの者を絶ち滅ぼそうとして、壘が築かれ包囲壁が設けられるときでも、ファラオは決して大軍勢と大集団で彼をかばうことはない。

17:18 彼は誓いを蔑み、契約を破った。彼は誓っていないが、これらすべてのことをしたのだ。彼は助からない。

17:19 それゆえ、【神】である主はこう言われる。わたしは生きている。彼が蔑んだわた

しの誓い、彼が破ったわたしの契約、これを必ず彼の頭上に返す。

17:20 わたしは彼の上にわたしの網をかけ、彼はわたしの罾にかかる。わたしは彼をバビロンへ連れて行き、そこで、わたしの信頼を裏切ったことについて彼をさばく。

17:21 彼の軍隊の逃れた者もみな剣に倒れ、残された者も四方に散らされる。このとき、あなたがたは、【主】であるわたしが語ったことを知る。』」

17:22 【神】である主はこう言われる。「わたしは高い杉のこずえを取り去り、そのうちから柔らかい若枝の先を摘み取り、わたし自ら、それを高くそびえる山に植える。

17:23 わたしがそれをイスラエルの高い山に植えると、それは枝を伸ばし、実を結び、見事な杉の木となる。その下にはあらゆる種類の鳥が宿り、その枝の陰に住む。

17:24 このとき、野のすべての木は、【主】であるわたしが高い木を低くし、低い木を高くし、生木を枯らし、枯れ木に芽を出させることを知る。【主】であるわたしが語り、わたしが行う。」

主がエジプトに頼るなど命じられたのに、ユダの王はそれを「蔑み...破り」しました。彼も目にはエジプトが頼もしく感じたのです。人の力を主の力よりも大きなものとしてしまったのです。

私たちも同じようになってしまう危険性があります。主の御命令よりも人をあてにする、主の約束よりも人をあてにするということはないでしょうか。人は結局は「決して大軍勢と大集団で彼をかばうことはない。」のですから、振り回されることをやめましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

